



厚生労働大臣

殿

川崎医科大学附属病院  
学校法人 川崎学園  
理事長 川崎明



特定機能病院の業務に関する報告について

標記について、医療法第 12 条の 3 の規定に基づき、平成 18 年度の業務に関して報告します。

記

- 1 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照 (様式第 10)
- 2 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照 (様式第 11)
- 3 高度の医療に関する研修の実績

研修医の人数	67.4 人
--------	--------

(注) 前年度の研修医の実績を記入すること。

- 4 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法  
→ 別紙参照 (様式第 12)
- 5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績
- 6 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績  
→ 別紙参照 (様式第 13)
- 7 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職 種	常 勤	非 常 勤	合 計	職 種	員 数	職 種	員 数
医 師	353 人	9 人	354.6 人	看護業務補助	104 人	診療エックス線技師	0 人
歯 科 医 師	5 人	1 人	5.2 人	理学療法士	26 人	臨床検査技師	90 人
薬 剤 師	45 人	0 人	48.0 人	作業療法士	22 人	衛生検査技師	0 人
保 健 師	5 人	0 人	5.0 人	視能訓練士	10 人	検査 そ の 他	0 人
助 産 師	7 人	2 人	8.0 人	義肢装具士	0 人	あん摩マッサージ指圧師	0 人
看 護 師	605 人	10 人	611.5 人	臨床工学技士	12 人	医療社会事業従事者	7 人
准 看 護 師	4 人	0 人	4.0 人	栄 養 士	4 人	その他の技術員	19 人
歯科衛生士	3 人	0 人	3.0 人	歯 科 技 工 士	1 人	事 務 職 員	129 人
管理栄養士	28 人	0 人	28.0 人	診療放射線技師	39 人	そ の 他 の 職 員	38 人

- (注) 1 報告を行う当該年度の 10 月 1 日現在の員数を記入すること。
- 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
- 3 「合計」の欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により勤務換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下 2 位を切り捨て、小数点以下 1 位まで算出して記入すること。  
それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

8 入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科及び小児歯科の入院患者数及び外来患者数の数

	歯 科 等 以 外	歯 科 等	合 計
1 日当たり平均入院患者数	640.1 人	8.0 人	648.2 人
1 日当たり平均外来患者数	1,316.9 人	50.2 人	1,367.1 人
1 日当たり平均調剤数	2,935.8		剤

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄には、それ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。
- 2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数 (毎日の 24 時現在の在院患者数の合計) を暦日で除した数を記入すること。
- 3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

## 高度の医療の提供の実績

## 1 高度先進医療の承認の有無及び取扱い患者数

高度先進医療の種類（医科）	承認	取扱い患者数
・顔面骨、頭蓋骨の観血的移動術	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・培養細胞による先天性代謝異常診断	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・溶血性貧血症の病因解析及び遺伝子解析診断法	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・経皮的埋め込み電極を用いた機能的電気刺激療法	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・人工括約筋を用いた尿失禁の治療	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・人工中耳	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・実物大臓器立体モデルによる手術計画	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・性腺機能不全の早期診断法	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・経皮的レーザー椎間板切除術（内視鏡下を含む）	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・造血器腫瘍細胞における薬剤耐性遺伝子産物P糖蛋白の測定	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・スキンドファイバー法による悪性高熱症診断法	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・血小板膜糖蛋白異常症の病型及び病因診断	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・焦点式高エネルギー超音波療法	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・オープンMRを用いた腰椎椎間板ヘルニアに対するヤグレーザーによる経皮的椎間板減圧術	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・肺腫瘍のCTガイド下気管支鏡検査	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・先天性血液凝固異常症の遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・筋緊張性ジストロフィー症のDNA診断	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・SDI法による抗がん剤感受性試験	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・内視鏡下頸部良性腫瘍摘出術	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・栄養障害型表皮水疱症のDNA診断	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・家族性アミロイドーシスのDNA診断	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・三次元形状解析による顔面の形態的診断	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・マス・スペクトロメトリーによる家族性アミロイドーシスの診断	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・抗がん剤感受性試験	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・子宮頸部前がん病変のHPV-DNA診断	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・不整脈疾患における遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・腹腔鏡下肝切除術	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・画像支援ナビゲーション手術	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・悪性腫瘍に対する粒子線治療	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・エキシマレーザーによる治療的角膜切除術	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・成長障害のDNA診断	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・生体部分肺移植術	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・門脈圧亢進症に対する経頸静脈肝内門脈大循環短絡術	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・乳房温存療法における鏡視下腋窩郭清術	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・悪性黒色腫におけるセンチネルリンパ節の遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・腫瘍性骨病変及び骨粗鬆症に伴う骨脆弱性病変に対する経皮的骨形成術	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・声帯内自家側頭筋膜移植術	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・骨髄細胞移植による血管新生療法	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・ミトコンドリア病のDNA診断	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・悪性黒色腫又は乳がんにおけるセンチネルリンパ節の同定と転移の検索	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・鏡視下肩峰下腔徐圧術	有・ <input type="radio"/> 無	0人

高度先進医療の種類（医科）	承認	取扱い患者数
・神経変性疾患のDNA診断	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・脊髄性筋萎縮症のDNA診断	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・難治性眼疾患に対する羊膜移植術	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・固形がんに対する重粒子線治療	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・脊椎腫瘍に対する腫瘍脊椎骨全摘術	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・カフェイン併用化学療法	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・ <sup>31</sup> P-磁気共鳴スペクトロスコピーとケカルシト画像による糖尿病性足病変の非侵襲的診断	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・特発性男性不妊症又は性腺機能不全症の遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・胎児尿路・羊水腔シャント術	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・遺伝性コプロポルフィリン症のDNA診断	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・固形腫瘍（神経芽腫）のRNA診断	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・硬膜外腔内視鏡による難治性腰下肢痛の治療	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・重症BCG副反応症例における遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・自家液体室索処理骨による骨軟部腫瘍切除後骨欠損の再建	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・膝腫瘍に対する腹腔鏡補助下膝切除術	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・低悪性度非ホジキンリンパ腫の遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・悪性脳腫瘍に対する抗がん剤治療における薬剤耐性遺伝子解析	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・高発がん性遺伝性皮膚疾患のDNA診断	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・筋過緊張に対するmuscle afferent block (MAB) 治療	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・Q熱診断における血清抗体価測定及び病原体遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・エキシマレーザー冠動脈形成術	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・活性化Tリンパ球移入療法	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・抗がん剤感受性試験（CD-DST法）	<input checked="" type="radio"/> 有・無	0人
・胸部悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・家族性アルツハイマー病の遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・腎悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・膀胱尿管逆流症に対する腹腔鏡下逆流防止術	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・中枢神経蛋白質形成異常症の遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・三次元再構築画像による股関節疾患の診断と治療	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・樹状細胞と腫瘍抗原ペプチドを用いたがんワクチン療法	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・内視鏡下甲状腺がん手術	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・骨腫瘍のCT透視ガイド下経皮的ラジオ波焼灼療法	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・泌尿生殖器腫瘍の後腹膜リンパ節転移に対する腹腔鏡下リンパ節郭清術	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・HLA抗原不一致血縁ドナーからのCD34陽性造血幹細胞移植	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・下肢静脈瘤に対する血管内レーザー治療法	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・頸椎椎間板ヘルニアに対するヤグレーザーによる経皮的椎間板減圧術（CT透視下法）	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・胎児胸腔・羊水腔シャントチューブ留置術	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・活性化血小板の検出	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・早期胃がんに対する腹腔鏡下センチネルリンパ節検索	<input checked="" type="radio"/> 有・無	0人
・ケラチン病の遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・隆起性皮膚線維肉腫の遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・末梢血幹細胞（CD34陽性細胞に限る。）による血管再生治療	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・末梢血単核球移植による血管再生治療	有・ <input type="radio"/> 無	0人

高度先進医療の種類（医科）	承認	取扱い患者数
・副甲状腺内活性型ビタミンD(アナログ)直接注入療法	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・グルタミン受容体自己抗体による自己免疫性神経疾患の診断	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・腹腔鏡下広汎子宮全摘出術	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・一絨毛膜性双胎妊娠において発症した双胎間輸血症候群に対する内視鏡的胎盤吻合血管レーザー焼灼術	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・自己腫瘍(組織)を用いた活性化自己リンパ球移入療法	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・自己腫瘍(組織)及び樹状細胞を用いた活性化自己リンパ球移入療法	有・ <input type="radio"/> 無	0人

高度先進医療の種類（歯科）	承認	取扱い患者数
・インプラント義歯	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・顎顔面補綴	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・顎関節症の補綴学的治療	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・歯周組織再生誘導法	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・接着ブリッジによる欠損補綴並びに動揺歯固定	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・光学印象採得による陶材歯冠修復法	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・エックス線透視下非観血的唾石摘出術	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・レーザー応用による齲蝕除去・スケーリングの無痛療法	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・顎関節鏡視下レーザー手術併用による円板縫合固定術	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・顎関節脱臼内視鏡下手術	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・耳鼻いんこう科領域の機能障害を伴った顎関節症に対する中耳伝音系を指標とした顎位決定法	有・ <input type="radio"/> 無	0人

先進医療の種類	承認	取扱い患者数
・高周波切除器を用いた子宮腺筋症核出術	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・自動吻合器を用いた直腸粘膜脱又は内痔核手術(PPH)	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・画像支援ナビゲーションによる膝靭帯再建手術	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・凍結保存同種組織を用いた外科治療	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・強度変調放射線治療	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・胎児心超音波検査	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・内視鏡下小切開泌尿器腫瘍手術	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・画像支援ナビゲーションによる内視鏡下鼻内副鼻腔手術	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・インプラント義歯	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・顎顔面補綴	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・人工中耳	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・歯周組織再生誘導法	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・抗がん剤感受性試験	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・腹腔鏡下肝切除術	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・生体部分肺移植術	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・活性化血小板の検出	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・末梢血幹細胞による血管再生治療	有・ <input type="radio"/> 無	0人

先進医療の種類	承認	取扱い患者数
・カラー蛍光観察システム下気管支鏡検査及び光線力学療法	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・先天性銅代謝異常症の遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・超音波骨折治療法	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・眼底三次元画像解析	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・CYP2C19遺伝子多型検査に基づくテラーメイドのヘリコバクター・ピロリ除菌療法	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・非生体ドナーから採取された同種骨・靭帯組織の凍結保存	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・X線CT診断装置及び手術用顕微鏡を用いた歯根端切除手術	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・定量的CTを用いた有限要素法による骨強度予測評価	有・ <input type="radio"/> 無	0人

(注) 1 「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

2 高度先進医療で上の表に掲げられていないものを行っている場合は、空欄の部分に記入すること。

3 先進医療で上の表に掲げられていないものは、今年度の業務に関する報告の対象ではないが来年度以降の参考のため記入すること。

## 2 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾患名	取扱い患者数	疾患名	取扱い患者数
・ベーチェット病	64人	・モヤモヤ病(ウイルス動脈輪閉塞症)	22人
・多発性硬化症	34人	・ウェグナー肉芽腫症	1人
・重症筋無力症	50人	・突発性拡張型(うっ血型)心筋症	21人
・全身性エリテマトーデス	212人	・多系統萎縮症	17人
・スモン	7人	・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	2人
・再生不良性貧血	37人	・膿疱性乾癬	3人
・サルコイドーシス	29人	・広範脊柱管狭窄症	7人
・筋萎縮性側索硬化症	15人	・原発性胆汁性肝硬変	35人
・強皮症、皮膚筋炎および多発性筋炎	187人	・重症急性膵炎	12人
・特発性血小板減少性紫斑病	85人	・特発性大腿骨頭壊死症	29人
・結節性動脈周囲炎	41人	・混合性結合組織病	18人
・潰瘍性大腸炎	156人	・原発性免疫不全症候群	7人
・大動脈炎症候群	26人	・特発性間質性肺炎	3人
・ピュルガー病	76人	・網膜色素変性症	15人
・天疱瘡	20人	・プリオン病	0人
・脊椎小脳変性症	41人	・原発性肺高血圧症	4人
・クローン病	120人	・神経繊維腫症	6人
・難知性の肝炎のうち劇症肝炎	0人	・亜急性硬化性全脳炎	1人
・悪性関節リウマチ	8人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	0人
・パーキンソン病関連疾患	119人	・特発性慢性肺血栓栓症(肺高血圧型)	2人
・アミロイドーシス	2人	・ライソゾーム病(ファブリー[Fabry]病)含む	0人
・後縦靭帯骨化症	32人	・副腎白質ジストロフィー	0人
・ハンチントン病	4人		

(注)「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

## 3 病院・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	① 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 ② 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。		
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	臨床部門と病理診断部門との症例検討会	1か月	10回程度
	臨床部門と臨床検査部門との症例検討会	1か月	17回程度
剖検の状況	剖検症例数	60例	剖検率 11.5%

## 高度の医療技術の開発及び評価の実績

## 1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又委託元
骨格筋増殖抑制因子myostatinの活性阻害による筋ジストロフィー治療薬の開発	砂田 芳秀	神経内科	2,400 万円	補委 厚生労働省
筋ジストロフィーおよびその関連する疾患の病態生理の解明と治療薬物の開発に関する研究	砂田 芳秀	神経内科	250 万円	補委 厚生労働省
腹膜障害と細胞老化について中皮細胞におけるSirt1の働き	藤本 壮八	腎臓・リウマチ内科	40 万円	補委 腹膜機能リサーチ研究助成
加齢による腎障害進展の分子メカニズムの解析	大関 正仁	腎臓・リウマチ内科	30 万円	補委 第7回腎不全病態治療研究会会長賞
メタボリックシンドロームにおける血管内皮機能障害及び腎障害の機序解明と治療法の開発	柏原 直樹	腎臓・リウマチ内科	30 万円	補委 両備櫻園記念財団研究助成
乳癌術後補助化学療法におけるエストロゲン低下の影響とその対策に関する研究	園尾 博司	乳腺甲状腺外科	110 万円	補委 厚生労働省がん研究助成金
日本乳癌学会特別国際プロジェクト研究「Comparison of clinicopathological characteristics of breast cancer among different countries and geographical area」	紅林 淳一	乳腺甲状腺外科	200 万円	補委 中間法人日本乳癌学会
再発頭頸部癌に対するホウ素中性子捕捉療法	粟飯原 輝人	耳鼻咽喉科	30 万円	補委 岡山県医師会
粥状硬化性機序による難治性脳梗塞の診断・治療・予防に関する研究	木村 和美	脳卒中医学	200 万円	補委 循環器病研究費
特発性造血障害に関する調査研究	通山 薫	検査診断学(病態解析)	100 万円	補委 厚生労働省

計 10

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

合計 10

## 高度の医療技術の開発及び評価の実績

## 2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
内科専門医会誌 18(2) : 407-412, '06	突発性好酸球増多症候群に対するメシル酸イマチニブの維持療法	和田秀穂	内科学(血液)
Haematologica 91(5) : 613-619, '06	The mechanisms of vitamin K2-induced apoptosis of myeloma cells.	Wada H	〃
Am J Hematol 81(7) : 560-561, '06	Implantable cardioverter defibrillator therapy in a patient with cardiac amyloidosis.	Wada H	〃
Anticancer Research 26 : 4115-4124, '06	Trail expression up-regulated by interferon- $\gamma$ via phosphorylation of STAT1 induces myeloma cell death.	Wada H	〃
Leuk Res Sep 25 ; [Epub ahead of print], '06	Clinical features and outcome of T-lineage acute lymphoblastic leukemia in adults : A low initial white blood cell count, as well as a high count predict decreased survival rates.	Wada H	〃
Int J Hematol 83(5) : 443-449, '06	Clinical features of polycythemia vera and essential thrombocythemia in Japan : retrospective analysis of a nationwide survey by the Japanese Elderly Leukemia and Lymphoma Study Group.	Sugihara T	〃
臨床血液 48(2) : 134-139, '07	十二指腸原発濾胞性リンパ腫8症例の臨床的検討	和田秀穂	〃
Micron 138 : 257-267, '06	Generation of muscle aquaporin 4 overexpressing transgenic mouse : Its characterization of RNA and protein levels including freeze-fracture study.	Sunada Y	内科学(神経)
FEBS Lett 580(18) : 4463-4468, '06	Bone marrow transplantation improves outcome in a mouse model of congenital muscular dystrophy.	Ohsawa Y	〃
J Gene Med 8(6) : 773-778, '06	VEGF 164 gene transfer by electroporation improves diabetic sensory neuropathy in mice.	Murakami T	〃
J Clin Invest 116(11) : 2924-2934, '06	Muscular atrophy of caveolin-3-deficient mice is rescued by myostatin inhibition.	Ohsawa Y	〃
Muscle Nerve 33(4) : 500-504, '06	Repetitive nerve stimulation of facial muscles in MuSK antibody-positive myasthenia gravis.	Hemmi S	〃
J Vasc Interv Radiol 17 : 723-726, '06	Carbon Dioxide-Enhanced Sonographically Guided Radiofrequency Ablation Plus Transcatheter Arterial Chemoembolization for Hepatocellular Carcinoma.	Kenji Ohmoto	内科学 (肝・胆・膵)



雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Cardiovasc Intervent Radiol 29 : 1111-1113, '06	Use of Intra-Arterial Carbon-Dioxide-Enhanced Ultrasonography for Guidance of Radiofrequency Ablation and Transcatheter Arterial Chemoembolization in Hepatocellular Carcinoma.	Kenji Ohmoto	内科学 (肝・胆・膵)
Hepato-Gastroenterology 53 : 651-654, '06	Thermal Ablation Therapy for Hepatocellular Carcinoma : Comparison between Radiofrequency Ablation and Percutaneous Microwave Coagulation Therapy.	Kenji Ohmoto	"
Journal of Clinical Ultrasound 36(2) : 78-81, '07	CO2-Enhanced Sonographically Guided Radiofrequency Ablation and Transcatheter Arterial Chemoembolization for Small Hepatocellular Carcinoma Poorly Defined on Conventional Sonography.	Kenji Ohmoto	"
J Nutr 136 : 821S-826S, '06	Aged garlic extract has potential suppressive effect on colorectal adenomas in humans.	K Haruma	内科学 (食道・胃腸)
Dig Liver Dis 38 : 303-307, '06	Anti-parietal cell antibody and serum pepsinogen assessment in screening for gastric carcinoma.	T Kamada	"
Scand J Gastroenterol 41 : 1320-1329, '06	Blockade of tumor necrosis factor- $\alpha$ -converting enzyme improves experimental small intestinal damage by decreasing matrix metalloproteinase-3 production in rats.	K Tarumi	"
J Gastroenterol Hepatol 21 : 837-841, '06	Surface structure of antral gastric mucosa represents the status of histologic gastritis : fundamental evidence for the evaluation of antral gastritis by magnifying endoscopy.	K Haruma	"
Scand J Gastroenterol 41 : 856-861, '06	Real-time visualization and quantitation of canine gastric mucosal blood flow by contrast-enhanced ultrasonography.	K Haruma	"
Dig Endosc 18 : 79-83, '06	Nodular gastritis and gastric cancer.	T Kamada	"
J Gastroenterol Hepatol 21 : 258-261, '06	Evaluation of endoscopic and histological findings in Helicobacter pylori-positive Japanese young adults.	T Kamada	"
J Gastroenterol Hepatol 21 : 98-102, '06	Endoscopic characteristics and Helicobacter pylori infection in NSAID-associated gastric ulcer.	T Kamada	"
Dig Endosc 19 : 32-35, '07	Can dental treatment be the infection route of H. pylori transmission in adults? three cases of acute gastric mucosal lesions after dental treatment.	T Kamada	"
J Am Soc Echocardiogr. 19(7) : 914-918, '06	Rate of progression of valvular aortic stenosis in patients underfoing dialysis.	Kume T	内科学(循環器)
Am J Cardiol. 15 ; 97(12) : 1713-1717, '06	Assessment of coronary arterial thrombus by optical coherence tomography.	Kume T	"